

①校長意見集計

発行者 教科	東京書籍	大日本図書	教育図書	開隆堂出版	学校図書	三省堂	教育出版	教育芸術社	光村図書	帝国書院	大修館書店	新興出版社 啓林館	山川	数研	日本文教出版	Gakken	育鵬社	あかつき	日科
国語	0					0	0		3										
書写	0					0	3		0										
地理	7						0			1					0				
歴史	8						0			0			0		0		0		
公民	8						0			0					0		0		
地図	1									7									
数学	3	0			0		0					1		0	0				
理科	3	5			0		0					0							
音楽							0	1											
器楽							0	1											
美術				0					0						0				
保健体育	0	1									2						3		
技術	1		0	2															
家庭	0		0	0															
英語	1			0		1	0		1			0							
道徳	4						4		4						22	0		2	0

①【校長意見集計】 令和7年度中学校使用教科用図書

〈教職員 気づき・意見〉 (○プラス意見 ▼マイナス意見 ◇感想・意見)	
国語	○【光村図書】言語活動が充実している。 ○【光村図書】読みやすい字体であるとともに、刺激の少ない色づかいに加え、新しく教材を差し替えるなど改善が見られる。
書写	○【光村図書】国語と書写は同じ出版社が良い。
社会(全般)	○【東京書籍】梅屋庄吉など長崎市にゆかりのある人物や歴史について記載が多い。現在の教科書との継続観点からも優れている。 ○【東京書籍】みやすさ、課題の取り扱い、単元を見通した課題追及、使いやすさは東書。
	◇東京書籍以外の他社はコンパクトで工夫されていてみやすくは仕上がっている。それぞれ分野で力点が違い、読み物として楽しい。
地図	○【帝国】色調のみやすさ。ページ数が多い分、資料が豊富。
	○【東京書籍】QRコードの資料数が多く、調べ学習には都合がよい。
数学	○【大日本図書】教師が指導しやすい。また、生徒が取り組みやすい内容になっており、学習内容の順番など構成が良い。
	○【大日本図書 「めあて」がわかりやすく提示されており、生徒が主体的に学ぶことが大いに期待できる構成となっている。
	○【啓林館】解説動画付で、自学において復習や予習がしやすい。
	○【東京書籍】色分けされた図がわかりやすく、QRコードより、主体的に学ぶ姿勢が身につく、より使いやすい。
理科	○【大日本図書】実験の結果の例がわかりやすい。生徒が理解しやすい構成になっている。
	○【大日本図書】教科書のサイズが様々でした。大日本図書のみ生徒がよく使うノートと同じ大きさ(B5版)でした。レイアウトなど紙面が見やすく、特に実験のページは手順が図入りで一番分かりやすく思いました。
	○【大日本図書】単元末の探究的内容の配置。本のサイズ、内容構成等のバランスが良い。
	○【東京書籍】1時間見開きで対応している配列で、既習事項など小学校で学習した内容のポイントも明記されていた。
音楽	○【教育学芸社】歌唱教材が生徒の好みに応じた曲が多い。
器楽	○【教育学芸社】挿絵の美しさ、鑑賞教材ではあえてイメージを固定化しないよう挿絵のリアリティが抑えられている点等が好印象。
美術	○【光村図書】専門性ある教材と万人向けの教材のバランスが良い。
保体	○【Gakken】取り扱う内容が豊富であり、詳細である。章末の確認問題に関しても充実している。
	○【Gakken】工夫された書体で、見やすい。仕切りなどが少ないレイアウトである。また、「課題発見」「課題解決」「学びの活用」と授業の流れが明確で学びやすい内容となっている。

技術	○【開隆堂】生徒が取り組みやすい構成になっている。
家庭科	○【開隆堂】生徒が取り組みやすい構成になっている。
	○【東京書籍】レイアウトがシンプルで文字を読み取りやすい。
英語	○（開隆堂出版）学習内容の展開および構成がよい。
	◇どの教科書も生徒が教科書を使って意見をやり取りしたり、発信できるように思考力・判断力・表現力を育成するために工夫された構成となっている（特に東書）。QRコードが多数あり（採択の基準ではないが）、多角的に使用し、自立した学習ができる様な仕組みになっている教科書が多かった。半面、開隆堂など内容をすっきりとして、文字数や行数を少なくし、どの単元も同じスタイルで学習を進めていく形であるものもあり、生徒にとってはわかりやすい、自分で取り組みやすい内容となっていた。また、全体的にどの教科書もレイアウトが見やすく、以前の教科書よりもユニバーサルカラーを使用していることに工夫が見られた。正方形の教科書が2種類あった（光村・教育出版）。机の上に収まりやすく、タブレットなどとコンパクトに使いやすい利点と、他と比べると横長になるため行数が少なく、生徒にとっては見やすいと感じられた。
	◇時代と共にこれまでの教科書採択のように紙だけでは判断しかねるところもある（QRコードからの情報活用、デジタル教科書との併用など）。
道徳	○【日本文教】教材とは別に「その教材で身に付けたい力」に関する内容が詳細に記載してあり、学びを深めやすい構成。
	○【日本文教】キャプテン翼、ハイキューなど、生徒の好奇心を促すような挿絵やテーマがあること、表紙が非常に明るく手に取りやすいことなどが好印象でした。
	○【日本文教】これまで使っており、ねらいや指導方法など丁寧で使いやすい。また、道徳ノートが付属している。
	○【日本文教】内容、資料、サイズ、展開の工夫、読みやすさ等のバランスが良い。
	○【あかつき】考え議論する道徳の展開を図るうえで必要な「資料と自分を重ねる」「資料を離れて本時の価値を追究する」ことを深めやすい教科図書として際立っている。
	○【教育出版】サイズが持ちやすく、各題材のテーマが明記され、何を学習するのか意義付けをしてから学習できる。
	◇道徳は使いやすいのは日文。内容的には教出がと思う。心をどの視点で育てるのは、どの出版社も課題は残る。

職員意見集計

発行者 教科	東京書籍	大日本図書	教育図書	開隆堂出版	学校図書	三省堂	教育出版	教育芸術社	光村図書	帝国書院	大修館書店	新興出版社 啓林館	山川	数研	日本文教出版	Gakken	育鵬社	あかつき	日科
国語	3	0	0	0	0	20	5	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
書写	7	0	0	0	0	8	41	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地理	64	0	0	0	0	0	3	0	0	8	0	0	0	0	3	0	0	0	0
歴史	61	0	0	0	0	0	2	0	0	6	0	0	3	0	4	0	2	0	0
公民	64	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	5	0	2	0	0
地図	9	0	0	0	0	0	0	0	0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0
数学	54	10	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	5	3	0	0	0	0
理科	30	39	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
音楽	0	0	0	0	0	0	5	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
器楽	0	0	0	0	0	0	6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美術	0	0	0	5	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0
保健体育	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	51	0	0	0
技術	22	0	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭	9	0	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
英語	39	0	0	15	0	13	2	0	6	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
道徳	46	0	0	0	0	0	40	0	38	0	0	0	0	0	309	28	0	28	4

【教職員集計】 令和7年度中学校使用教科用図書

〈教職員 気づき・意見〉 (○プラス意見 ▼マイナス意見 ◇感想・意見)	
国語	<p>○【光村図書】センス良く学びやすい構成になっている。時代のニーズとしての国語力育成についてもしっかり対応している。</p> <p>○【光村図書】読みやすい字体と刺激の少ない色づかいである。教材も、それぞれの内容を教えるのにぴったりの文章が選ばれており、かつて教えにくさを感じた教材は、新しいものに差し替えられている。</p> <p>◇【光村図書】2年「字のない葉書」は、父親からの虐待被害生徒がいるときには、単元の扱いが難しかった。</p> <p>◇【光村図書】現在使用しているものを変更してまでの優位性が見られる教科書は見当たらなかった。</p> <p>▼【光村図書】同じ種類の内容が多いと感じる。生徒に必要な知識を身に付けさせるための資料でなければならないと考える。</p>
	<p>○【教育出版】問いが実践的な内容になっている。</p> <p>○【三省堂】取り扱っている内容（物語）がとっつきやすい。教育出版は問いが実践的な内容になっている。</p>
書写	<p>○【教育出版】硬筆教材が多く入っていて、教科書に書きこませる指導がしやすい。選ばれた手本のことばも、段階を踏んで、次第に高度になっていく。指導しやすそうである。</p> <p>○【教育出版】映像資料（動画）が分かりやすい。</p> <p>◇動画視聴のQRコードが示されているページ数に差があった。生徒自身に確認させたい場面を考えると、すべてにQRコードがある方が良かった。</p>
社会（全般）	<p>○【東京書籍】地歴公民とも、グラフや図、資料等が豊富で、資料集などが購入しなくても十分に対応できると考えた。</p> <p>○【東京書籍】学習課題、まとめが明確であり、使いやすい</p> <p>○【東京書籍】量が適切で、まとめ方がよい。資料が見やすい。</p> <p>○【東京書籍】授業者の裁量で幅のある授業ができそうだと感じました。生徒にとって見やすい内容だと思います。</p> <p>○【東京書籍】見方・考え方を章末にしっかりと明記し探求しやすい構成になっている。</p> <p>○【東京書籍】地理・歴史・公民、内容、資料（史料）等、東京書籍が秀逸だと判断する。</p>
	<p>○【日本文教出版】調べる際は、内容が充実しています。</p> <p>○【日本文教出版】章末の探求課題の工夫と地理のまとめがわかりやすい。</p> <p>◇地図帳が毎回帝国書院なので、地・歴・公三分野統一がよいと思う。</p>
地理	意見なし

歴史	○【東京書籍】他の3社と比べ、情報量が多い。
	○【日本文教出版】【帝国書院】裏表紙のQRコードから関連資料に飛べる工夫は、生徒の追求意欲に応え、調べ学習を充実させる。
	○【山川】高校の世界史、日本史にもつながるもので、内容的にも適切であると感じた。
	◇【山川】他の出版社に比べて、資料や説明が豊富な印象をもった。(かえって詳しく書きすぎている部分もある。)
	○【育鵬社】『新しい日本の歴史』は読み物として参考になります。 ◇【育鵬社】歴史の事実をそのまま伝えているところが多い。(生徒には分かりづらいところもある)
公民	○【東書】扱いやすく感じた。
地図	○【帝国書院】配色が見やすく感じました。
数学	○【東京書籍】例が適切。問題数が丁度よく使いやすい。
	○【東京書籍】他の教科書と比べて単元の系統性がよい。
	○【東京書籍】例題等、わかりやすい。
	○【東京書籍】デジタル教科書の内容、付属教材の充実度も含めて断然良い。
	○【東京書籍】1年生1章、四則の混じった計算の分配法則についての説明が東京書籍と学校図書は図が入っていてわかりやすい。色分けされている分東京書籍がより使いやすいように感じた。
	○【大日本図書】1時間ごとの「めあて」がわかりやすく記載されているため授業が組み立てやすい。
	▼【大日本図書】指導書のデータがとても少ない。以前の東京書籍の方が充実していた。
	▼【大日本図書】条件の文言、図形の説明順序が異なり、使用が難しい。
	▼【大日本図書】相似条件の2つ目の書き方が大日本図書以外が統一されている。
	▼【大日本図書】単項式と多項式の扱いも、大日本図書のみが違っている。
▼【大日本図書】垂線の作図が2つあるが大日本図書は1つしか載っていない。	
▼【大日本図書】用語の説明が難しかった。	
○【学校図書】東京書籍や大日本図書は、1年の最初に素因数分解がきていてよくないと感じた。	
◇デジタル教科書がある発行社にしていきたい。	
理科	○【東京書籍】現行よりもサイズが大きくなり、その分写真や図が見やすい。
	○【東京書籍】レイアウトが見やすい。大日本図書は実験がわかりやすい。

	<p>▼【東京書籍】 2年生で電流が最後になっており、単元テストと学年末テストでしか確認復習ができない。2年生時に実力テストでも学習の理解度をみたいので別の教科書が良いと思う。また、3年生では、食物連鎖の内容が、長崎県の公立入試において範囲から削除される天体の後にきており、教科書の内容を前後入れ替えるような対策が必要と思います。デジタル教科書では、実験の方法を説明する動画に結果まで入っており使い勝手が悪い。</p> <p>○【大日本図書】教科書の大きさと通常使用されるノートの大きさが同じで保管しやすい。軽量であり、単元の並び順も良い。</p> <p>○【大日本図書】大日本図書以外どれも大きくて重いと思いました。</p> <p>○【大日本図書】3年生の学習内容では、天体の前に食物連鎖が入っており対策しやすい。デジタル教科書では、実験方法と実験結果が別のページにあり使い勝手が良い。</p>
音楽	<p>○【教芸】歌詞ページが縦でそろって見やすい。「教育出版」は混在していて見にくい。</p> <p>○【教芸】指導しやすく生徒の学びがスムーズな構成</p> <p>○【教芸】伝えたいことがシンプルに書かれている。</p> <p>○【教芸】デジタルコンテンツが使いやすいそう。生徒に親しみのある教材が多い。</p> <p>◇音楽の教科書全般において、授業で歌唱する際、教科書を持ち、立った状態で歌うため、現状の大きさや紙質の状態ではページをめくる作業がとても困難であると感じる。</p>
器楽	<p>○【教芸】伝えたいことがシンプルに書かれている。</p> <p>○【教育出版】生徒の学びがスムーズ</p> <p>○【教育出版】ARの運指がわかりやすい。</p>
美術	<p>○【日本文教】これまで使っていた会社のものが使いやすい。QRコードが前回より増えていて導入で活用しやすそう。</p> <p>▼【開隆堂】内容が斬新で魅力的だが、紙の質と印刷の発色が今一つと感じた。</p> <p>○【光村図書】一番見やすい。色校正は現在の教科書（光村）の方がよかった。</p> <p>○【光村図書】題材の設定が具体的でわかりやすく、生徒がイメージをしっかり持って活動できる。題材ごとに鑑賞→表現、さらに発想構想の広げ方なども記載されており、制作の流れも把握しやすい。別冊の資料に技法が詳しく載せてあり、生徒が適宜活用できることが良い。QRコードが多く、技法や知識の理解が深まり、鑑賞でも普段見えないような見方ができ、鑑賞の幅が広がる。</p> <p>○【光村図書】資料集が付帯していて、指導が行いやすい。また見開きでひとつの題材がまとめてあり、見やすい。</p> <p>○【光村図書】免許外教科なので正しく判断できているかわかりませんが、初めて教えるという点では、資料があるとありがたい。</p> <p>○【光村図書】資料が充実していて別冊資料がついているので、免外の先生にも使いやすいのではないかと思います。</p>

保体	【大日本図書】 QRコードから動画コンテンツが視聴できるのは良いと思う。資料と文章がまとめて提示されていて見やすい。
	【大修館書店】 章ごとにまとめの問題があり、振り返りや理解の確認がさせやすい応急処置においてアスカモデル（死戦期呼吸）を扱っておりAED活用に大きく役立つ。
	【Gakken】 章ごとにまとめの問題があり、振り返りや理解の確認がさせやすい。
	【Gakken】 文字の行の高さがつまっておらず、多様性において見やすかった。
技術	○【東京書籍】 基礎技能のページがまとめてあってわかりやすい。
	○【東京書籍】 図、写真などの構成がわかりやすい。プログラミングの例が指導しやすい内容となった。
	○【東京書籍】 写真が多く、レイアウトのバランスが良く見やすい。三社とも問題発見、解決の過程を重視した構成となっていた。
	○【東京書籍】 補足説明が一番多くあり、たくさんの技術に教科書でも触れられている。
	◇アニメ調の表紙になっていることが残念に思う。
	◇指導書の資料の動画などはどのようなものがあるか知りたかった。
家庭科	○【東京書籍】 ページのレイアウトが統一されており、目標からまとめの流れがわかりやすく工夫されており使いやすいと思う。
	○【東京書籍】 文章や図版が読みやすく分かりやすく整理されていて見やすい。育成すべき資質・能力を各節の冒頭に「目標」として明確に示されている。各節の最後に「まとめ活動」を設けていて、次の学習に繋がられる内容となっている。主体的・対話的に取り組む活動を儲け、学習内容の理解を活動を通して深めることができる内容となっている。
	○【開隆堂】 レイアウトや図が見やすく、分かりやすい内容になっている。
	○【教育図書】 写真が大きく、たくさん使われている。ワーク用の学習シールがついていて便利。
	○【教育図書】 「幼児の生活、成長」、調理実習の説明がとてもわかりやすい。
	○【教育図書】 分かりやすくまとめられていて、使いやすいそうです（教育図書）。
	◇家庭分野教科書について、見やすく、シンプルなものが良いと感じています。字を大きくしたり、図を入れたりして見やすくユニバーサルデザインなどの観点もあるのかもしれませんが、とにかく「大きい、重たい」という印象です。
英語	○【東京書籍】 映像資料（動画）がよい。開隆堂出版は付録のカードが扱いやすい。
	◇【東京書籍】 key sentenceの解説動画だけでなく、ビデオレターや語順カードを使ってみたい。
	○【啓林館】 これまで使用していた東京書籍の教科書は、難易度が高く、生徒たちが難しく考えていた。
	○【啓林館】 インプットとして何を学びアウトプットとして何ができるのかが書かれており、生徒が自分でも理解しやすいと思う。 ▼【啓林館】 文字が小さめで少し読みづらいと感じた。

	<p>○【三省堂】レッスンの数が少なくてちょうどよく、小・中学校の学習のつながりがスムーズに行える。</p> <p>○【三省堂】題材の内容に深みがあり、興味を引く。長年継続して同じ内容の読み物教材を残しているところも素晴らしい。</p> <p>○【開隆堂】中1のスタートの内容が良い。各レッスンのはじめに学習する文法事項のページがあるのが良い。Can-Doリストが使いやすい。Small Talkの資料が使いやすい。</p> <p>○【教育出版】学習活動の手順や留意点がわかりやすい。学習上、必要なものを適所に取り上げている。</p> <p>◇【教育出版】P54の「水原さんが大谷選手をどのように支えているのだろう」は変更されるのではないか。</p>
道徳	<p>○【光村図書】生徒が知っているイラストや題材が読みやすい。扱われている教材が適切で付録のノートも使いやすい。</p> <p>○【光村図書】パッと目を引きやすく読みやすいことと、内容がより中学生の各学年に向けたものを選ばれていると感じた。</p> <p>○【光村図書】読みもの資料だけでなく添付資料も充実していてよいと思いました。</p> <p>○【日本文教】身近な題材が多く、付属のワークシートが使いやすい。教育出版は題材に沿った質の高い内容になっている。</p> <p>○【日本文教】シンプルで扱いやすいように感じました。別冊ノートが使いやすいと感じました。</p> <p>○【日本文教】道徳ノートが付属しており、使いやすい。ページのほどよい余白があり見やすい。</p> <p>○【あかつき】資料に自分を重ねやすく、資料から離れて考えることができる教材が多い。</p> <p>○【あかつき】生徒にじっくり考えさせることができる資料が豊富に揃っています。対して、他の教科書はやたら挿絵が多く、その挿絵から不必要な憶測を呼び、じっくりと考える機会を削いでします。</p> <p>○【開隆堂】本文が興味深く、意欲を引き出すような内容。学習した内容を使って取り組むパフォーマンス活動が充実している。</p> <p>○【日本教科書】絵で読み取ることができ、考える時間を多くとることができそうだ。</p> <p>○【東京書籍】考え議論するために補助となる内容のページがあるかで判断した。一番使いやすいように感じた。</p> <p>◇多くの先生方が今年度と同じ教科書を選択する傾向にあります。教科書が変わることにより新たに教材研究を行うのが面倒だというような意識が結果に反映されているようにも感じます。特に道徳については様々な意見や考えに触れることで、内面的資質が育成されることを考えると、同じ教科書を使い続けるのではなく、様々な教科書を幅広く使用することが望ましいと考えます。</p> <p>◇指導書を見たい。現行の教科書は発問が読み取り要素が強く、主題からそれやすい。価値項目が示されている教科書が良い。</p>

②【市民の意見集計】（1名） 令和7年度中学校使用教科用図書

〈市民の意見 気づき・意見〉（○プラス意見 ▼マイナス意見 ◇感想・意見）	
公民	○【東京書籍】「選挙は当たり前ものじゃない」「選挙はなぜ必要なのか」「政治参加としての選挙」としてのスキルアップ（選挙シュミレーション）（SNSのメディアリテラシーを身に付けよう）若者に一票の大切さを理解してもらえそう。
	○【日本文教】小学校で学習した「憲法って何か」から始まって憲法が私たち国民や世界の人々とどんなに重要なつながりがあるか分かりやすく説明しており、国民のお守りの存在であることが理解できる。
	○【帝国】自校の生徒会から考える直接民主制と間接民主主義の単元があり、選挙について関心がもてる。
	○【自由社】近代国民国家の4つの役割に分け、生徒自身に考えさせる単元があり、自主的に取り組める。

市民に対する教科書の法定展示は次のとおり実施

- ・期間 令和6年6月14日から6月29日
- ・場所 長崎市立図書館